



# AK HOUSE

AK HOUSEは住宅地に建つ一軒家である。建て主の要望は、「明るく開放的でありながら周りからは見られないように」であった。

富山県は、1年を通して日照時間が少なく、冬期は1日平均3時間程度の日照となっている。その少ない日照を有効に取り入れ活かす工夫が必要である。

また敷地は、2方向は道路に面しているが、住宅地特有の道路を挟んで2階建住宅が建っており、4方向からの視線を考慮すべきであった。

そこで、道路側の玄関やリビングの棟を低くし、その棟より連続させてテラス壁を設け、周囲からの視線を遮り、南東方向より光を入れる計画とした。

「閉じながら開く」相反する2つの要望をかなえるため、住宅の中央付近で外の空間を取り込み、断熱性能を保ち得る限りの透過程性の高いサッシで仕上げた。

そして、取り込んだ「外」に隣接して、キッチン・ダイニング、リビング、階段室、寝室を左右、上下に設けることにより、「外」を介して室がつながり、「外」の光を感じると共に、家族の気配を感じることのできる住まいとなった。

構造体であるジョイスト梁は、「外」から入る光の方向と合わせることにより、空間に明るさと影をもたらし、空間に広がりと共に、印象深さをもたらしている。また、仕上材料の色に変化をつけ、ジョイスト梁との対比により、空間を引きしめながら「外」の「光」を導いた。

室内に少し入り込んだ外部空間、外部空間を挟んで向こう側に見えてくる白く光る壁も、室内空間の光環境に大きく影響し、魅力的な距離感を作り出している。

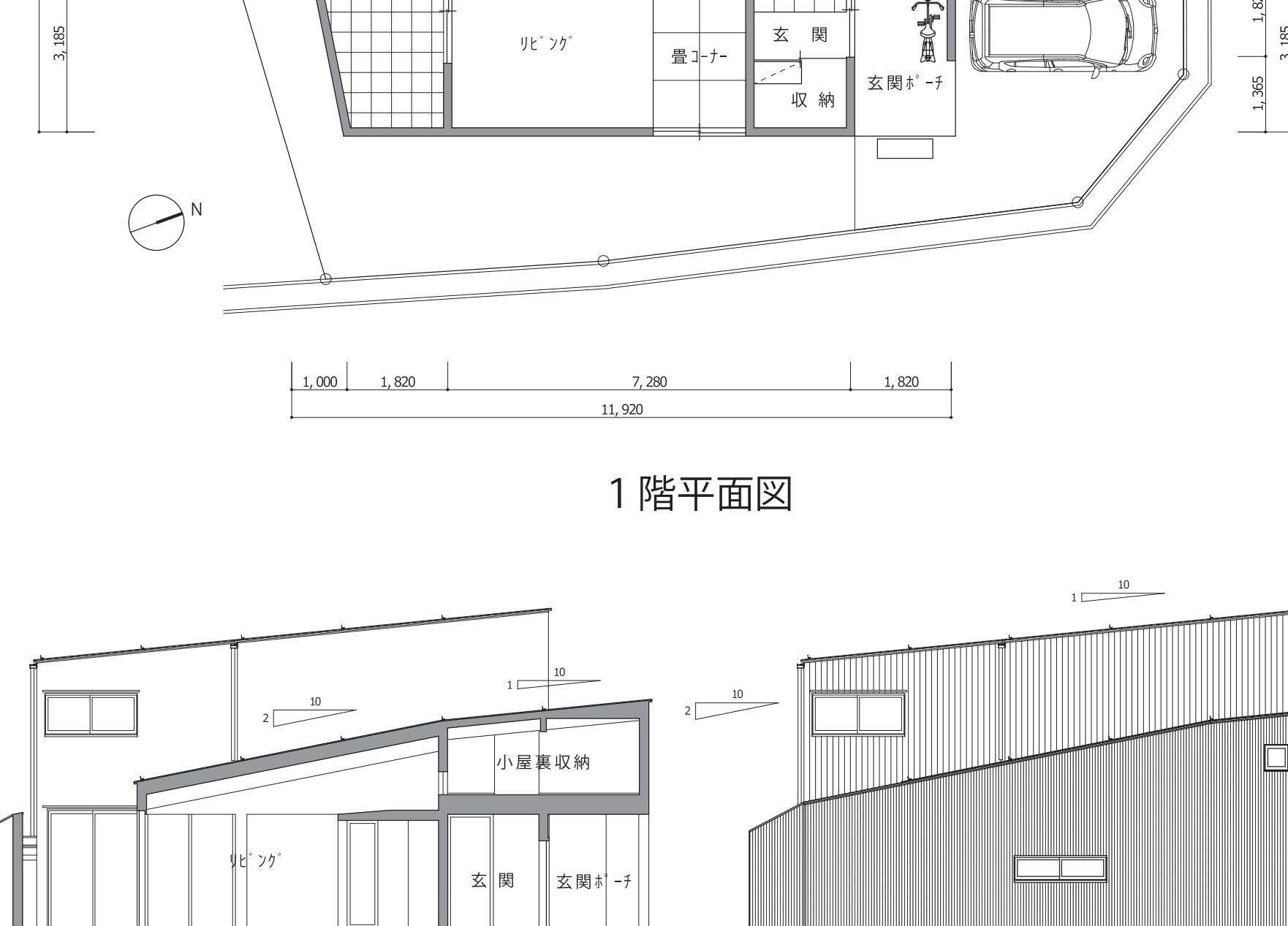
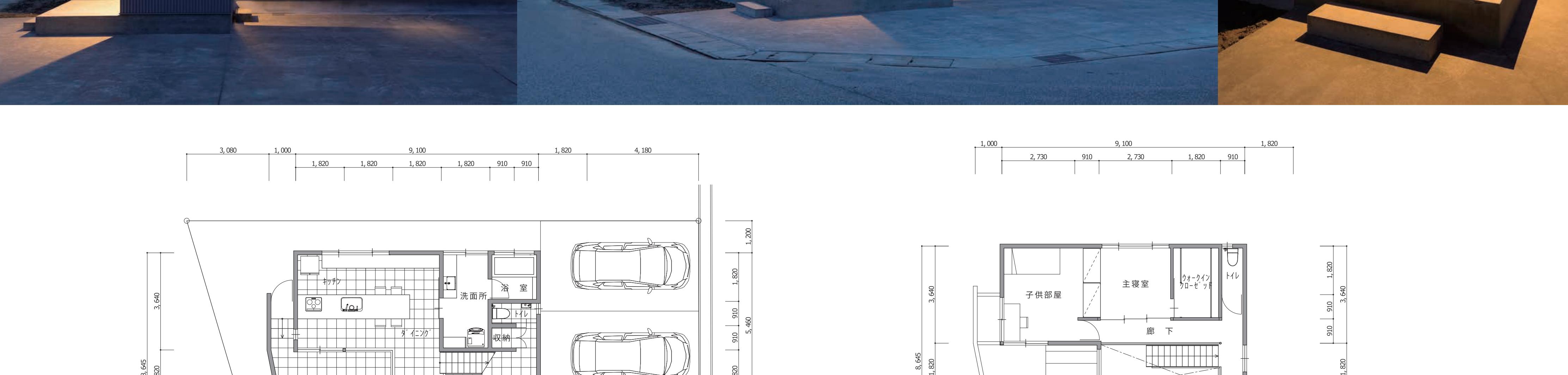
1Fの床材は、大部分にタイルを採用し、取り込んだ「外」をより広く開放的に見せながら、ジョイスト梁や仕上材、家具などの「木」との対比も楽しめる。

AK HOUSEに取り込んだ「外」は春秋は風を通し、夏は打ち水を涼を感じ、冬は雪景色を楽しむ。四季毎に、何かを伝えてくれるであろう。

設計監理:DOKO一級建築士事務所

建築面積: 75.02 m<sup>2</sup> / 延床面積: 106.74 m<sup>2</sup>

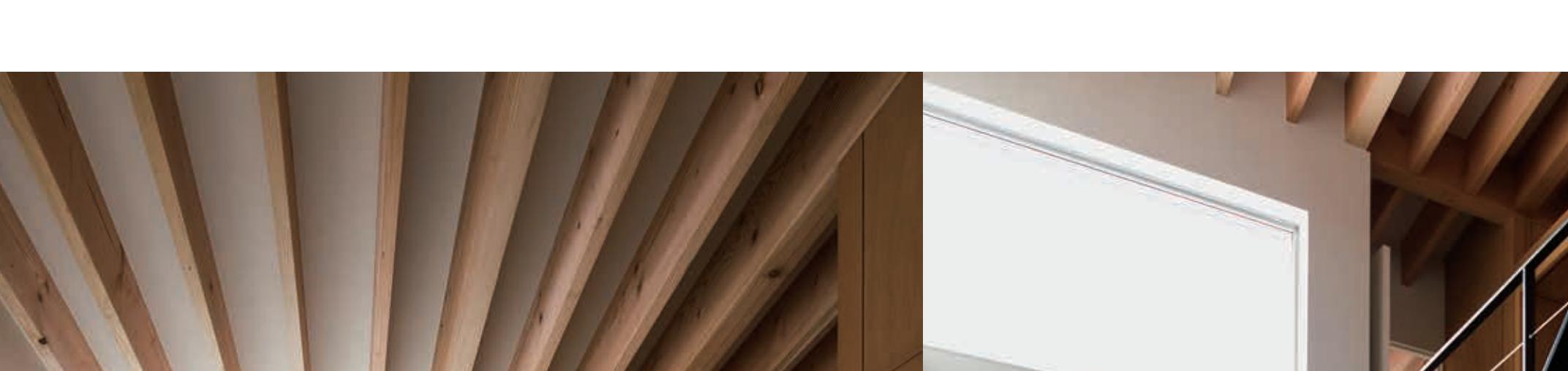
1階床面積: 69.65 m<sup>2</sup> / 2階床面積: 37.18 m<sup>2</sup>



1階平面図

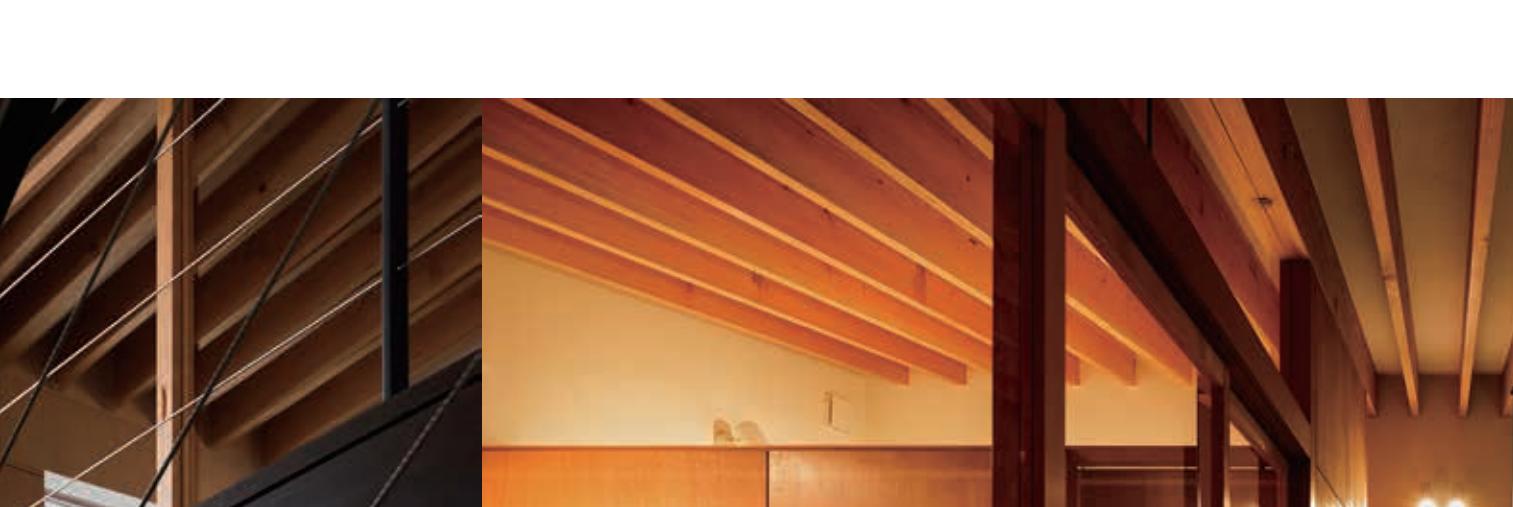


2階平面図



断面図(南北)

東側立面図



断面図(東西)

北側立面図

